

## 5 一般会計からの繰入状況

一般会計からの繰入状況は、第14表のとおりである。当年度においては、収益的収入に180億3,530万円、資本的収入に4億979万円、総額で184億4,509万円が繰り入れられている。

収益的収入への繰入金の大半を占めているのは、雨水処理に係る負担金176億3,964万円である。雨水処理に係る経費については公費負担が原則で、維持管理費及び資本費相当額（一部除く）が繰り入れられている。収益的収入への繰入金の繰入率（経常収益に占める割合）は、前年度から0.1ポイント上昇し37.8%となっている。

また、収益的収入への繰入金のうち汚水処理分は、汚水処理に係る経費に対する負担金及び使用料減免若しくは高度処理に係る維持管理費等に対する補助金を合わせて2億7,777万円となっており、使用料の減免分がその46.4%を占めている。

資本的収入への繰入金は、臨時財政特例債の元金償還に充てる補助金4億979万円である。

**第14表 一般会計からの繰入状況**

(単位 千円)

区 分		2 年 度	元 年 度	対前年度 増減額	概 要	
営 業	負 担 金 法17の2	雨 水 処 理 A	17,639,648	18,298,779	△ 659,131	A : 雨水処理＝雨水に係る経費相当額 ・維持管理費の雨水分相当額（2年度35/100） ・資本費（臨時財政特例債の元金償還分等を除く）の 雨水分相当額（2年度56.9/100） （一部については若干繰入率が異なる） B : 汚水処理＝汚水に係る経費相当額 ・臨時財政特例債の支払利息の汚水分相当額 （2年度43.1/100） C : ・水質指導費の全額 ・普及促進費の1/2 ・貸付助成事業費に係る補助金等の全額（元年度） D : 使用料減免相当額 ・定山溪温泉 2/3 E : 児童手当の給付に要する所要額 F : ・高度処理経費に係る維持管理費のうち一般排水分の1/2 ・高度処理施設に係る資本費のうち一般排水分の1/2 ・促進事業に係る資本費の汚水分相当額 （2年度43.1/100） G : 臨時財政特例債の元金償還分相当額
		汚 水 処 理 B	16,424	27,545	△ 11,121	
		そ の 他 C	95,973	90,958	5,014	
	計	17,752,046	18,417,283	△ 665,237		
収 益	補 助 金 法17の3	使 用 料 減 免 D	128,841	157,143	△ 28,301	
		児 童 手 当 E	21,904	20,460	1,444	
		計	150,745	177,603	△ 26,857	
営 業 外 収 益	補 助 金 法17の3	汚 水 処 理 F	132,510	131,903	607	
		計	132,510	131,903	607	
収 益 的 収 入 計 (繰入率)		18,035,303 (37.8%)	18,726,790 (37.7%)	△ 691,487 (0.1%)		
資 本 的 収 入	補 助 金 法17の3 G	409,795	498,165	△ 88,369		
資 本 的 収 入 計		409,795	498,165	△ 88,369		
合 計		18,445,099	19,224,955	△ 779,856		

(注) 法＝地方公営企業法